



2019～20年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2019～2020)

会長/加持 誠 司
幹事/川村 公彦
会報委員長/今西 務

創立/昭和38年10月2日
例会日/水曜日 12:30～13:30
例会場/新ロイヤルホテル 四万十
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2618

第2749回 令和2年1月22日(曇り)

本日のプログラム: ゲストスピーチ 柿葉 十四郎様 (職業奉仕月間)

1月29日(水): 会員スピーチ

2月5日(水): 会員スピーチ

【会長挨拶】 加持誠司会長

- ・高齢者には寒い日が続いています。お身体には十分に気をつけましょう。本日のゲストは自衛隊高知地方協力本部・四万十地域事務所長柿葉十四郎様です。私の住んでる岩田出身です。スピーチよろしくお願いします。
- ・昨日、散髪に行きましたら、店の人に左の眉毛に3倍長い毛が1本ありますと。年を取ると、髪の毛が抜けるのを忘れるらしいです。
- ・私が子どもの頃は、マッチとナイフは常備品でして、ポケットの中に入れてました。今の子ども達が所持していたら大変な事になります。山に行って木を切ったり、火をつけたりして遊びました。遊びのグループの年齢差は10歳位ありました。この歳になって、昔は良かったなと感じる今日この頃です。

【幹事報告】 川村公彦幹事

- ・国際ロータリー日本事務局より
1月1日付けの人頭分担金の請求書 配信
- ・ガバナーエレクト事務所より
1) 2020～21年度短期交換プログラム計画について (募集要項、申請書、名簿 等)
2) 高知分区短期交換委員より
派遣学生一次選考面談の日程
3/20 (金) 午後4時～高知サンライズホテル
- ・高知中央RCより
第17回ロータリー選抜野球大会のご案内
10/16 (金) 前夜祭 17～18日 野球大会
- ・新湊RCより
第16回ロータリー選抜野球大会の礼状、試合結果表、写真データ 拝受
- ・理事会承認事項
「首里城」火災に対する支援金を全会員より1,000円集金



【本日のプログラム】 ゲストスピーチ 柿葉 十四郎様 自衛隊高知地方協力本部・四万十地域事務所長



中村出身で、陸上自衛官一等陸尉の柿葉十四郎です。今は岩田に住んでいます。中村小・中・中村高校を出まして民間企業を経て20歳で陸上自衛隊に入りました。最初は北海道11年、香川県、高知県、現在は白木さんのビル3階の四万十地域事務所に勤務しています。地域事務所は、幡多郡6市町村を管轄して活動しています。災害時には、市役所で対策本部を立ち上げ、自衛隊を呼ぶかどうか判断します。

日常は募集、広報をやっています。自衛隊の災害派遣は、台風とか地震の「自然災害」、そして日航ジャンボ機、地下鉄サリン、鳥インフルエンザなどの「特殊災害」に対応します。災害派遣は年間約500件で一番多いのは緊急患者輸送です。離島で患者さんが出た時、自衛隊が輸送します。ちなみに、航空自衛隊の緊急発進(スクランブル)は年間約1,000回です。災害派遣は、知事からの要請で防衛大臣から実働部隊に。最初に出動するのがファーストフォースと言います。全国の何百とある駐屯基地では小隊が1時間以内に 出動できるように24時間毎日待機しています。高知県では香南市にある第50普通科連隊が24時間体制で待機しています。

一昨年7月の西日本豪雨では第50普通科連隊が四万十市に派遣され、宿毛市、大月町で活動しました。最終的には200名規模で柏島と、泊浦で行方不明の方の捜索などを行いました。災害派遣の出動には3要件と言われる条件があります。緊急性、公共性、非代替性です。緊急性=急がないと行けない時、公共性=自宅の庭などには行けません。非代替性=民間で出来る事

は民間で、この3つが派遣の条件です。

9年前になりますが、東日本大震災には自衛隊全体で10万人派遣されました。私も当時、高知の第50普通科連隊の小隊長として参加しました。実際3.11発災後、すぐに全国自衛隊に待機がかかり、高知県から行くことは無いだろうと思っていましたがすぐに出動準備になりました。

自衛隊は日本で唯一の自己完結組織です。民間や他の官公庁を頼らなくても全部自前で賄えます。陸上自衛隊は「駐屯地」。海上、航空は「基地」=ベースキャンプ、陸自はあくまで「駐屯」しているだけです。京都大久保駐屯地、静岡富士駐屯地、そして首都高から宇都宮駐屯地に入りました。各部隊と連絡を取り、高知の部隊は宮城県石巻市に入りました。隊員が何百人、車が何百台と入りますので、まず指揮官が偵察に行きます。栗原市の体育館が空いているという事で入りました。そこから石巻市大川地区の小学校に入ったのは1週間後。そこは遺体だらけでした。

災害時はまず自分と家族の命を守るので精一杯、次に生き埋めの方たちを72時間(3日間)探す。その後、生存者のための水とか食料、命を守ることで概ね一週間。私たちが着いた時がようやく御遺体などを運べる状態でした。実際、御遺体を運んで、自衛官は死亡認定は出来ない。警察官がいるという話でしたが、警察の方も被災して現地にはいない状態でした。それから3か月間活動して高知に帰ってきました。

現在はその体験を基に、小学校など色々な場所で命の大切さや、災害が起こった際に、自衛官としてスムーズに活動出来る事などをお話しさせていただいています。

ご静聴ありがとうございました。

【ニコニコ箱】

加持会長：柿葉十四郎様、本日はスピーチありがとうございました。
一藤会員：柿葉十四郎様、本日はスピーチありがとうございました。
佐竹会員：一藤さんに無理を言いました。ありがとうございました。

【出席報告】 ・会員総数57名 (免除会員3名)

・本日の出席/34名 70.83%

・先週の訂正 MU9 60.42%→79.17%